

令和5年度 事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、マスク着用などの感染対策の見直しが行われました。また、日経平均株価がバブル期を上回る史上最高値を記録するなど、「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」も見据えた動きが、社会的・経済的に見られた一年となりました。

一方で、コロナ禍において顕在化・深刻化した、社会的孤立や経済的困窮などの生活・福祉課題は、現在もなお人々の暮らしに影を落としています。

兵庫県共同募金会では、このような状況の中で赤い羽根共同募金の役割を発揮していくため、「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」（2021～2025）に基づき、県内各地で多様な取り組みを進めました。

令和5年度の共同募金運動の募金実績は、一般募金が434,669,237円（達成率91.8%）、地域歳末たすけあい募金が115,776,508円（達成率95.8%）、NHK歳末たすけあい募金15,290,869円（達成率84.9%）と、いずれも前年度と比較して大きく減少する結果となりました。戸別募金の減少傾向は止まらず、街頭募金をはじめとした他の募金によって、戸別募金の減少額を補うには至りませんでした。その中で、1～3月の期間拡大募金は、前年に引き続き目標額を大きく上回る実績を残すことができました。

10月の運動開始にあたっては、多くの関係者の参画により、キックオフイベントを芦屋市で開催し、全県的な啓発活動を実施しました。併せて、県内のほとんどの地区で、さまざまな住民層の協力により街頭募金やイベント募金が積極的に展開され、募金実績額も前年度から大きく伸びたことは、今後の運動につながる動きと言えます。

また、本会では令和4年度に集まった募金について、県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉関係団体及び県域・広域で活動を行う社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO等の事業費として配分しました。

さらに、将来の大規模災害に備えた準備金として積み立てを行うとともに、令和6年1月に発生した能登半島地震では、被災地への準備金の県外拠出を実施しました。

以上のような活動展開の中で、本会では6月に役員改選を行い、新体制の下での組織運営がスタートしました。また、これからの共同募金運動のあり方そのものを改めて問い直すため、理事・評議員等で構成する検討委員会の場を新たに設置し、「募金目標額の設定」「地域住民による募金活動の促進」「募金運動への参画の拡大」「広域配分のあり方」の各論点について、令和6年度にかけて協議を進めているところです。

今後も本会では、「じぶんの町を良くするしくみ」としての共同募金運動を積極的に展開していくとともに、生活・福祉課題の解決に向けた配分事業の一層の「見える化」を推進しながら、社会福祉協議会とともに地域福祉活動への参画の輪を広げていくことを目指します。

1. 共同募金運動の積極的展開

「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」に基づき中期的な視野に立った強化方針に沿って、課題解決に向けた取組みを推進しました。また、地域福祉財源の十分な確保ができるよう、地域の特性に応じた多様な募金方法により多くの協力者の参加促進を図り、配分については、配分委員会で慎重に審議し、配分計画の策定及び配分を実施しました。

(1) 「ひょうご共同募金運動推進2025年計画」の普及と推進

- ① 共同募金運動強化推進モデル地区事業 モデル地区指定数 3地区
加東市共同募金委員会 「『あかはねスイーツ』の販売」
たつの市共同募金委員会 「『ニコニコマルシェ』の実施」
上郡町共同募金委員会 「赤い羽根ご優待クーポンの作成」
- ② 共同募金委員会現況調査 実施時期 2～3月
- ③ 共同募金運動強化推進の事例収集・共有

(2) 共同募金運動の活性化に向けた検討

- ① 共同募金のあり方検討委員会の設置・開催
12月18日 11名、オブザーバー2名
2月19日 7名、オブザーバー1名
- ② 共同募金のあり方検討ワーキング会議の設置・開催
2月 7日 7名、オブザーバー等4名

(3) 共同募金運動の推進

- ① 受配要望のとりまとめ
＜要望数・金額＞

社会福祉施設	12施設	15,880,000円
県社協		6,460,000円
49市区町社協		373,715,400円
- ② 兵庫県社会福祉協議会による社会福祉法第119条に基づく意見書の受理
- ③ 配分計画の立案
＜一般募金＞

(広域配分)	
社会福祉施設	9,000,000円
社会福祉団体、更生保護団体、ボランティア団体・NPO等	2,000,000円
県社協	6,000,000円
(災害等準備金積立金)	
災害準備金	18,364,000円

	(本部・共同募金委員会活動費)	
	本部・共同募金委員会活動費	64,283,600円
	(地域配分)	
	地区福祉事業費	373,715,400円
	合 計	473,363,000円
④	募金部会	7月18日 36名
	令和5年度共同募金目標額	
	<一般募金>	
	広域目標額	85,833,000円
	地域目標額	384,270,000円
	期間拡大目標額	3,140,000円 (実施18地区)
	合 計	473,243,000円
⑤	共同募金運動の実施	
	<一般募金>	
	実績額	434,669,237円
	目標額に対する達成率	91.8%
⑥	募金の配分 (令和6年度事業費)	
	<一般募金>	
	(広域配分)	
	社会福祉施設	7,770,000円
	社会福祉団体、更生保護団体、 ボランティア団体・NPO等	2,000,000円
	県社協	6,000,000円
	生活困窮者への緊急支援活動助成	2,790,000円
	(災害等準備金積立金)	
	災害準備金	16,821,000円
	(本部・共同募金委員会活動費)	
	共同募金委員会活動費	20,604,707円
	本部活動費	41,774,408円
	(地域配分)	
	地区福祉事業費	340,875,122円
	合 計	438,635,237円

2. 配分金の有効活用と監査の実施

令和4年度分の一般募金について、県内の地域福祉の推進に向けて生活・福祉課題の解決を目指す活動に対する配分を行いました。また、令和5年度分の配分にあたり、配分委員会において審査及び協議を行うとともに、受配団体に対し事務説明等により配分金の適正な活用を求めました。

また、寄付者の信託に応えるため、受配団体の募金の活用状況や経理処理等について監査部会による監査を実施しました。

(1) 配分の実施

配分委員会の開催	7月25日	8名
	11月14日	10名
	12月7日	8名
	3月6日	9名
「いのちをつなぐ支援活動応援事業」の審査・決定		
	10件	3,870,000円
「社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO支援事業」の審査・決定		
	9件	1,780,000円

(2) 監査の実施

監査部会の開催	10月30日	5名
	2月22日	5名
受配団体監査	社会福祉施設	1カ所
	社会福祉協議会	4カ所
	社会福祉関係団体	1カ所

3. 広報・啓発活動の積極的推進

共同募金運動への理解を広げるため、各種広報・啓発資材を作成し活用を図るとともに、情報提供手段として広報誌の他、ホームページ、SNS、「赤い羽根データベースはねっと」等により、募金活動や配分事業に関する情報を公表しました。

また、マスコミや行政、関係団体、配分先団体を通じて啓発・広報に取り組むことにより、住民・寄付者への情報提供と募金活動への参加協力を積極的に呼びかけました。

さらに、幅広い世代へ向けたPRのため、オリジナル資材の作成をはじめ、マスコット「あかはねちゃん」の着ぐるみ・ぬいぐるみ・等身大パネル及びガチャガチャ機械の貸出等の活用を図りました。

(1) 広報啓発活動の実施協議、関係機関・団体との連携

広報部会	6月19日	6名、オブザーバー1名
	2月26日	6名
キックオフイベント	10月 1日	

J R 芦屋駅前周辺（芦屋市）
マスコミ、関係機関、受配団体等への広報・啓発の依頼
受配先団体による配分事業を通じての広報強化
「あかはねちゃんサポーター」の募集

(2) 共同募金のスローガン、ロゴマーク、マスコット等の普及と活用

「赤い羽根ひょうごスローガン」の活用
共同募金ロゴマーク、キャッチフレーズの活用
マスコット「あかはねちゃん」によるPR活動
着ぐるみ 26件／等身大パネル 3件／ぬいぐるみ 7件
キッズあかはねちゃんの衣装 3件
ガチャガチャ機械の貸し出し 2件
オリジナルバッジの作成と活用 15,600個
近畿統一記念バッジデザイン募集・審査・決定

(3) 多様な媒体による広報の実施

「赤い羽根シール」や兵庫県オリジナルポスターの作成
「共同募金News」の発行
広報・募金資材の作成、配布と活用
「赤い羽根データベース『はねっと』」の運用
ホームページ、SNSの運営
新聞広告、テレビ・ラジオスポット・大型ビジョンの活用

4. 募金の強化に向けた取組みの積極的展開

募金の強化に向けて、様々な方法による募金活動を実施しました。また、寄付者に対して感謝の意を表すため、共同募金運動に貢献があった個人・団体等へ、顕彰を行いました。

(1) 多様な募金活動の実施

法人・職域募金の推進
スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、調剤薬局等への依頼
募金百貨店プロジェクトの推進
実施店舗総数 173店舗／21市区町・県本部

期間拡大募金の実施

実施地区 18市区町

うちテーマ型募金 5区市

園児・小中高生等への福祉学習活動の推進

募金付自動販売機の設置促進

設置総数 58台（24市区町）

インターネット募金の普及

新たな募金手法の推進（キャッシュレス決済を用いた募金等）

（２）寄付に対するお礼と顕彰事業の実施

寄付に対するお礼の実施 随時

顕彰審査委員会 7月10日 委員4名

県共募会長表彰 個人121名、団体39団体、募金付き自販機設置団体4団体、
募金百貨店実施団体11団体

県共募会長感謝 個人192名、団体66団体、募金付き自販機設置団体7団体、
募金百貨店実施団体11団体

功労者・団体への表彰の推薦 随時

高額寄付者への感謝 個人40名、団体5団体

5. 市区町共同募金委員会の支援と県共同募金会の運営

組織運営のため、理事会・評議員会等及び部会・委員会を開催しました。また、共同募金運動の推進機関である市区町共同募金委員会の組織強化を図るため、市区町共同募金委員会の組織整備を支援しました。

（１）市区町共同募金委員会の支援

市区町共同募金委員会事務局長会議 8月29日 42名

2月27日 51名（オンライン開催）

市区町共同募金委員会担当者会議 8月24日 38名

3月15日 36名

市区町共同募金委員会における会計システムの活用支援

システム導入 49地区

市区町共同募金委員会活動費の交付 6月 12,426,330円

8月 8,085,000円

（２）理事会・評議員会・監事会等の開催

第257回理事会 6月8日 理事11名 監事2名

1. 令和4年度共同募金最終実績及び配分結果について

2. 令和4年度事業報告について
3. 令和4年度決算について・決算監査実施報告
4. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
5. 任期満了に伴う理事候補者の選定について
6. 任期満了に伴う監事候補者の選定について
7. 退任に伴う配分委員会委員の選任について
8. 退任に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任について
9. 定時評議員会（第212回評議員会）の招集について

第258回理事会　　6月26日　　理事15名　　監事3名

1. 会長の選定について
2. 副会長の選定について
3. 常務理事の選定について
4. 退任に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 顧問の委嘱について

第259回理事会　　8月 7日　　理事16名　　監事2名

1. 令和5年度共同募金目標額について
2. 令和5年度共同募金配分大綱について
3. 令和5年度共同募金運動実施要綱について
4. 第213回評議員会の招集について

第260回理事会　　3月14日　　理事13名　　監事3名

1. 令和5年度共同募金の結果及び配分について
2. 令和5年度補正予算について
3. 令和6年度事業計画について
4. 令和6年度予算について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 役員等賠償責任保険契約の締結について
7. 第214回評議員会の招集について

定時評議員会（第212回評議員会）　　6月26日　　評議員18名

1. 令和4年度共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和4年度事業報告について

3. 令和4年度事業決算について・決算監査実施報告
4. 任期満了に伴う理事の選任について
5. 任期満了に伴う監事の選任について
6. 退任に伴う配分委員会委員の選任について

第213回評議員会 8月22日 評議員19名

1. 令和5年度共同募金目標額について
2. 令和5年度共同募金配分大綱について
3. 令和5年度共同募金運動実施要綱について

第214回評議員会 3月26日 評議員18名

1. 令和5年度共同募金の結果及び配分について
2. 令和5年度補正予算について
3. 令和6年度事業計画について
4. 令和6年度予算について

正副会長会議 4月10日、5月8日、6月26日、7月10日、9月4日、
11月6日、12月4日、1月9日、2月13日、3月4日

監事監査

定期会計監査	4月19日	1名、5月10日	1名
決算会計監査	5月24日	1名	
決算事業監査	5月24日	2名	
定期事業監査	11月24日	1名	

評議員選任・解任委員会	6月9日議決	選任	4名
	7月3日議決	選任	7名
	3月18日議決	選任	2名

6. 緊急災害に対する支援

「災害支援制度運営要綱」に基づき、国内の大規模災害時の活動資金支援として準備金の積み立てを行いました。

また、国内自然災害の発生による義援金の募集について、全国の都道府県共同募金会とともに広報周知を図りました。

(1) 災害等準備金の積立及び支援

①積立

令和5年度募金による積立額を16,821,000円としました。

②支援

令和5年度に発生した能登半島地震の被災地における災害ボランティアセンター等の設置・運営に関わる経費として、14,192,000円を拠出しました。

【収支状況】

〔収入〕 令和4年度末積立金額	52,853,000円
令和5年度積立額	16,821,000円
収入合計	69,674,000円
〔支出〕 令和5年度拠出額	14,192,000円
令和2年度積立金取崩額	3,548,000円
支出合計	17,740,000円
〔当期末資金残高〕	51,934,000円
（内訳） 令和3年度	17,678,000円
令和4年度	17,435,000円
令和5年度	16,821,000円

（2）県内で発生した災害への対応

①緊急配分資金による対応

・見舞金の交付はありませんでした。

【収支状況】

〔前期末資金残高〕	24,666,787円
〔令和4年度交付分の戻入〕	60,000円
〔支出〕	0円
〔当期末資金残高〕	24,726,787円

（3）県外で発生した災害への対応

県外で発生した災害の義援金・支援金募集について広報周知を図りました。また、義援金の領収書発行希望者への発行手続きを行いました。

※（ ）内は募集期間

- (1) 令和5年5月能登地方地震災害義援金（R5/5/10～R5/9/29）
- (2) 令和5年台風第2号災害静岡県義援金（R5/6/8～R5/9/8）
- (3) 2023年台風第2号による大雨災害義援金（茨城県）（R5/6/8～R5/9/30）
- (4) 令和5年台風2号災害義援金（R5/6/12～R5/9/30）
- (5) 令和5年台風第2号等大雨災害埼玉県義援金（R5/6/19～R5/9/30）
- (6) 和歌山県令和5年台風第2号災害義援金（R5/6/21～R5/9/29）
- (7) 山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金（R5/7/12～R5/12/29）
- (8) 令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金（R5/7/18～R6/3/29）
- (9) 福岡県令和5年7月豪雨災害義援金（R5/7/18～R6/3/29）

- (10) 令和5年6・7月大雨災害義援金 (R5/7/19～R6/3/29)
- (11) 令和5年7月島根県大雨災害義援金 (R5/7/20～R5/8/31)
- (12) 秋田県大雨災害義援金 (R5/7/21～R5/10/31)
- (13) 富山県令和5年6・7月豪雨災害義援金 (R5/7/25～R5/8/31)
- (14) 大分県共募令和5年7月大分県豪雨災害義援金 (R5/7/25～R5/9/29)
- (15) 令和5年7月大雨災害義援金 (石川県) (R5/8/10～R6/3/29)
- (16) 沖縄県令和5年台風第6号災害義援金 (R5/9/5～R5/11/30)
- (17) 茨城県2023年台風第13号に係る災害義援金 (R5/9/13～R5/12/31)
- (18) 令和5年台風第13号の接近に伴う大雨千葉県災害義援金 (R5/9/13～R5/12/31)
- (19) 令和5年福島県台風第13号災害義援金 (R5/9/15～R5/12/31)
- (20) 令和5年台風13号災害義援金 (R5/9/20～R5/12/31)
- (21) 令和6年能登半島地震災害義援金 (石川県) (R6/1/4～R6/12/27)
- (22) 令和6年能登半島地震災害義援金 (R6/1/5～R6/12/27)
- (23) 令和6年能登半島地震災害義援金(富山県被災者支援分) (R6/1/5～R6/12/27)
- (24) 令和6年能登半島地震災害義援金(新潟県被災者支援分) (R6/1/9～R6/6/28)
- (25) 令和6年能登半島地震災害義援金(福井県被災者支援分) (R6/1/16～R6/12/27)

(4) その他

- ① 令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会 (募集期間R5/2/10～R5/5/31) に参画し、広報周知を行いました。
- ② 令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会 (募集期間R6/1/4～R6/6/28) に参画し、広報周知を行いました。

7. 歳末たすけあい運動の展開

地域歳末たすけあい運動について「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、地域福祉の推進を目的として市区町共同募金委員会が中心となり募金運動を進めました。配分については、プライバシーの保護や個人の尊厳を尊重し、援助を必要とする人々を支援する活動や事業を中心に配分するよう市区町社会福祉協議会と調整を行いました。

また、NHK歳末たすけあい運動を展開し、県域・広域で社会的な援助を必要とする人々を支援している団体の事業費や、障害福祉サービス事業所等の備品整備費等に配分しました。

①地域歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 120,908,000円

<募金実績額> 115,776,508円

目標額に対する達成率 95.8%

<配分内訳>

地域福祉・在宅サービス事業費	81,822,312円
在宅・施設利用者への贈呈事業費	25,737,576円
歳末事務費	6,679,463円
翌年度繰越金	42,268,155円
地区福祉事業配分金充当	12,254,542円
合 計	168,762,048円

(前年度繰越金52,985,540円を繰り入れ配分)

②NHK歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 18,000,000円

<募金実績額> 15,290,869円

募金取扱機関 中央共同募金会、兵庫県共同募金会、
NHK神戸放送局、JA県信連他

目標額に対する達成率 84.9%

③NHK歳末たすけあいの受配要望のとりまとめ及び審査、配分

<1次配分>

社会福祉関係団体	25件	3,455,000円
社会福祉施設連盟等	7件	850,000円
更生保護施設	2件	300,000円

<2次配分>

障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター、
放課後等デイサービス、児童発達支援事業所
54件 15,010,000円

<経費(中央共募・県共募)> 831,637円

<翌年度繰越金> 2,295,425円

合 計 22,742,062円

④NHK歳末たすけあい配分式 12月12日

8. 特定・指定寄付金の取り扱い

特定・指定寄付制度に関して、寄付者や受配予定者等からの相談を受け付け、寄付金にかかる税制上の優遇措置の取り扱いについて適正な運営を図りました。

特定・指定寄付金審査委員会 2月 9日

特定・指定寄付金に関する相談対応 随時

9. 各種助成金の推薦業務等

- ①公益信託前田清栄老人福祉基金の申請受付・配分調整・推薦
推薦 12件 10,000,000円
- ②神戸ヤクルト販売株式会社寄付金の配分調整・交付
寄付金受け入れ 12月11日 6施設 1,485,035円
- ③その他助成金、寄付金の配分調整・推薦業務
車両競技公益資金記念財団による助成事業の申請とりまとめと推薦
ボランティア活動に対する助成事業
申請 2件 751,400円、決定 2件 751,400円
Hitachi 3Tours Championship 2022 寄付金
4件 800,000円
三菱電機SOCIO-ROOTS基金寄付金の受け入れと助成金贈呈
寄付金受け入れ 3月15日 8団体 3,216,816円
株式会社ダイヘン「2023年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」
神戸市内の施設・団体等 52件 36,000,000円

10. その他法人運営について

- 会長交代に伴う代表者変更登記
- 社会福祉法人現況報告書の提出
- 神戸市による社会福祉法人指導監査の受入 10月19日
結果の通知 12月28日